

北海道ぎょれん広報

なみまるくん



7
2014
No.309

[うみ・なかま コミュニケーション]

北海道
ぎょれん



特集

第52回 北海道漁業協同組合長会議
第65回 ぎょれん通常総会



「はぼろの甘えび 日本一」 萌えキャラで全国PRを推進!



6月6日(金)、旭川で開催した留萌管内おさかな普及協議会による料理教室。北るもい漁協女性部と参加者の皆さんが、海老名愛ちゃんを囲んでにっこり。

「はぼろの甘えび」の認知向上に努めていきたい。」と教えてくれました。



6月15日(日)、コープさっぽろルーシー店・西野店では、生産者が自ら獲った「朝獲れ甘えび」を販売しました。(写真は、ルーシー店の様子)



海老名 愛
◎プロフィール
焼尻島生まれの羽幌町育ち。甘えび料理が好きで、ファッションに敏感な16歳。

北るもい漁協は、全国に誇る漁獲量日本一(※)の「甘えび」をもっと全国的に知ってもらおうと、「はぼろの甘えび日本一」のキャラクター「海老名愛」ちゃんを任命し、商標登録を願いました。

昨年、直売所「産直工房きたる」をオープンした北るもい漁協では、甘えびの生鮮販売や、むき身・えびみそラーメンといった加工品の拡充、えび殻の活用など、えびの多角的な利用を進めています。また、東京・大阪の商談会に出向き、商談がまるとまるなど、全国的な拡販にも力が入ります。

現在、国が進める輸出

政策「クール・ジャパン」でも注目を集めている萌えキャラ。北るもい漁協の蝦名専務に発案の経緯を伺うと、「役職員が知恵を出し合い、『海老名愛』と、『はぼろの甘えび日本一』の商標を決めました。」と教えてくれました。

また、「羽幌が誇るえび資源の有効活用を図り、魚価の安定・後継者の育成につなげたい。」と話します。今後の抱負については、「PRに力を入れるのはもちろん、えびみそラーメンに続く『えびしおラーメン』の商品開発等、さまざまな形で『はぼろの甘えび』の

[うみ・なかま コミュニケーション]

なみまるくん

北海道ぎょれん広報誌
Hokkaido Gyoren Magazine
July 2014 No.309



01 浜の元気印!
「はぼろの甘えび 日本一」萌えキャラで全国PRを推進!

02 特集1
第52回 北海道漁業協同組合長会議

05 特集2
第65回 ぎょれん通常総会

08 道漁青連が平成26年度 第1回地区会長会議・ぎょれん役職員との懇談会を開催しました

10 「お魚殖やす植樹運動」の植樹行事が行われました

12 浜の家族物語
雄武漁協/片川 孝典 さん ご家族

13 頭すっきり!! ブレイクタイム

14 なみまるインフォメーション

16 大漁祈願!
浜のほっとニュース

17 みなさんのお便りでつくるページ
なみまる おたより箱

表紙の写真
雄武漁協/片川 孝典さんご家族です。



日差しも眩しい初夏の陽気の雄武漁港

※平成23年度北海道水産統計より

第52回北海道漁業協同組合長会議



4つの議案が原案通り承認、決議された第52回全道組合長会議

6月19日(木)、札幌市の第2水産ビル大会議室で、「第52回北海道漁業協同組合長会議(全道組合長会議)」が開催されました。会議には、5月1日(木)の「全道組合長会議 第1回実行委員会」にて審議された4つの議案が上程され、全て原案通り承認、決議されました。ここでは、その会議の模様と決議内容についてお伝えします。

生産振興対策を求める特別決議など 4議案を承認

主催団体を代表し、ぎょれん川崎会長の挨拶ののち、柳谷組合長(白糠漁協)を議長、今組合長(北るもい漁協)を副議長に選任し、議事が進行了りました。
事務局より昨年の決議実行経過の報告と今回提出された議案の審査内容を説明しました。
提出された4つの議案は、全て原案通り承認され、これら決議の実行方法については、ぎょれん川崎会長に一任し、国や道などの関係機関



議長を務めた白糠漁協の柳谷組合長(左)と、副議長を務めた北るもい漁協の今組合長(右)

へ要請活動を行っていくことが承認されました。

決議内容について

特別決議 生産振興対策について



発言者
市山組合長
(ひやま漁協)

近年、海洋環境の変動等により、本道海域において水産資源の多くが減少の一途を辿っており、漁業経営の安定を図る上で重大な懸念材料であることから、資源回復対策が喫緊の課題となっている。
ついでには、漁場の環境整備、栽培漁業の推進など、各海域の実情に見合った生産振興施策の拡充と関連事業の一体的取り組みを通じて迅速に資源回復を図り、漁業経営の安定に向けた具体的施策を講じること



昆布の種を岩盤へ散布する技術の実証実験の様子

決議第1号 豊かな漁場・環境づくり強化対策について



発言者
平野組合長
(えりも漁協)

- (1) 有害生物(トド・アザラシ・オットセイ等の海獣類、クラゲ類、ザラボヤ)の漁業被害対策の拡充強化、およびヒトデによる漁業被害対策制度を創設すること
- (2) 多面的機能発揮対策事業の拡充強化、および漁村の地域振興に向けた自主的な活動に対する漁村集落直接支払交付金制度を創設すること
- (3) 海洋環境の変化に対応した迅速な漁場改善整備対策を講じること



岩場に群れで生息するトド

決議第2号 漁業経営基盤強化対策について



発言者
山崎組合長
(上磯郡漁協)

- (1) 資源管理・漁業経営安定対策の補償内容充実強化に向けた制度改善および制度の恒久化を図ること
- (2) 漁業コストの低減を図るための各種改革事業(漁業経営セーフティネット構築事業、省燃油活動推進事業、省工ネ機器等導入推進事業、漁業構造改革総合対策事業等)の継続および拡充強化を図ること
- (3) 漁業用燃油税制の免税・還付措置の恒久化に向けた立法措置を行うこと
- (4) 担い手の確保に不可欠な設備投資等、確実に定着を図るための就業者支援対策を講じること
- (5) 漁業近代化資金の貸付限度額および償還期限について、漁船や定置網等の資材費高騰による事業費の増加および性能・耐久性の向上による実使用期間の長期化等の実態を踏まえ、抜本的な制度改正を図ること

特集2
SPECIAL

第65回ぎよれん通常総会



7つの議案が原案通り承認可決されました

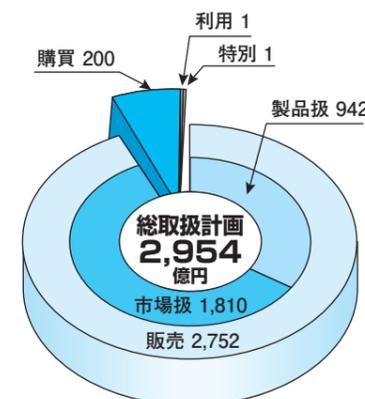


議長を務めた浜中漁協の山崎組合長

ぎよれん総会は、川崎会長の挨拶（次頁に掲載）ののち、浜中漁協の山崎組合長が議長に選任され、議事が進行しました。「平成25年度の決算」、「平成26年度の事業計画」など、7つの議案が審議され、いずれも原案通り承認されました。

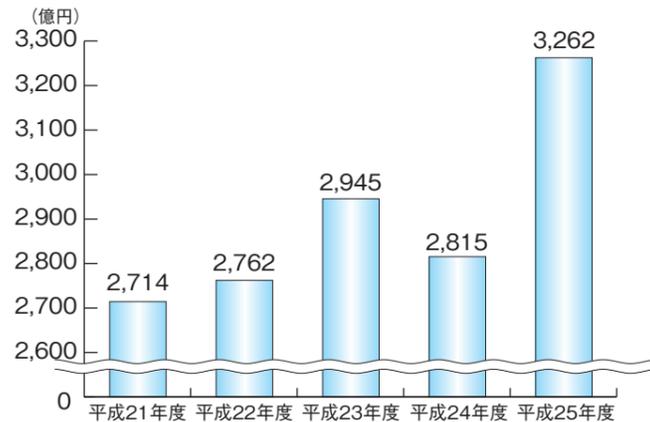
平成25年度取扱金額は過去20年で最高の3262億円
平成26年度取扱計画は2954億円

平成26年度事業別取扱計画



【単位：億円】

総取扱高の推移



- (6) TPP交渉およびWTO、EPA等の貿易自由化交渉における本道漁業への影響を回避する
- (7) 水産資源の持続的利用促進に向けた対策を講じる

決議第3号
原発関連対策について



発言者
岩田組合長
(いぶり噴火湾漁協)

- (1) 福島第一原発事故の早期収束および全この原発（建設中含む）の安全強化対策を講じる
- (2) 国内外における風評被害の早期解消および二度と風評被害を起こさせないための万全な対策を早急に講じる
- (3) 我国海域はつながっており、魚が回遊する状況を踏まえて、一度原発事故が発生すれば漁業に与える影響は計りられないことから、将来に向けて原発に依存しない体制を目指し、安全・安心な自然再生エネルギー等の利用の推進を図る

平成26年度漁協系統運動功労者表彰・特別表彰

全道組合長会議のなかで行われた「漁協系統運動功労者表彰」では、次の方が表彰され、ぎよれんの川崎会長から表彰状及び記念品が贈呈されました。



表彰を受ける柳谷組合長

柳谷 法司さん
白糠漁業協同組合 代表理事組合長

また、今回は「お魚殖やす植樹運動」での植樹本数が100万本を達成したことを記念し特別表彰が行われ、次の団体に表彰状及び記念品が授与されました。



謝辞を述べる平賀会長

北海道女性部連絡協議会

川崎会長 挨拶(要旨)

平成25年度の事業実績

本道漁業生産につきましては、魚種による明暗はあるものの、需給動向を反映し、秋鮭・ほたて・いか・さんまなどの水揚げ金額が前年を上回り、二千八百六十四億円と回復の兆しが見えました。

しかしながら、水揚げ数量は、ほぼ前年度並みにとどまり、地域間格差も依然として続くなど、資源回復対策が課題として残りしました。また水産物の流通の面では、海外での水産物需要の高まりと円安の追い風により、ほたてを主体に輸出が急増する一方で、国内においては消費者の魚離れから消費は低迷する



着手しました。

また、実用化の目途がついたアシストスーツ「タスカル」の取り扱いを開始し、浜の皆さんの作業の負担軽減につなげることにしました。購買事業の取扱高は、燃油価格の上昇もあり、計画ならびに前年を上回る実績となりました。

「指導事業」については、全道組合長会議の決議のもと、全漁連とも連携し、各種要請活動を行った結果、「漁業用燃油緊急特別対策」の実現をみるなど、本道漁業の課題解決に総力を挙げて取り組み、一定の成果をあげることができました。

「経営面」においては、コンプライアンスの徹底をはかるとともに、引き続き財務基盤の強化に取り組みました。

「関連会社」については、本会と一体となった事業推進を図り、室蘭食品については特別損失の計上により赤字決算となりましたが、残りの9社は黒字で終えることができました。

以上の結果、平成25年度の本会経営は、総取扱高は過去20年間で最高となる三千二百六十二億円となり、収支についても好転し、当期末処分剰余金段階で、六億二千万円を確保、前年を大きく上回りました。

といった消費構造の二極化が一段と進みました。こうした中、本会の販売事業の推進にあたりましては、関係団体とも連携を図りながら、国内外の需給動向を勘案した各種流通対策事業を強化し、円滑な流通の確保に取り組みできたところであります。

基幹魚種のうち「秋鮭」については、いまだ低水準ではありますが、十二万二千トンと前年を上回る水揚げとなり、浜値についても四百円台を維持することができました。

製品の消流については、親製品は比較的順調に推移しましたが、魚卵製品については供給増と高値形成により消流が停滞しました。このような中、本会としましては、関係団体との連携により輸出対策を含めた需給調整対策に取り組み、一定の成果を上げることができました。

「ほたて」については、前年を上回る四十四万トンの水揚げとなるなか、堅調な輸出により浜値が上昇し、過去最高の水揚げ高となりました。

製品流通については、アメリカ・中国を主体に輸出が増加する中で、価格の上昇等により、国内での消費が低迷し課題が残りしました。また、国際競争力の強化に向けたMSC(水産工コラベル)の認証取得が実現できたほか、国・道の施策強化によりEU向けの輸出環境整備が大きく前進しました。

近年、減産傾向が続いている「昆布」につ

なお、剰余金の処分につきましては、地区組合長会議で、ご了解を頂いた内容に沿った形でご提案致しておりますので、よろしくご承認のほどお願い申し上げます。

平成26年度の事業計画

次に平成26年度の事業計画の考え方について申し上げます。

グローバル化が一段と進む中、海外の動向が本道漁業に直接的な影響を与えており、国内だけを見据えた取り組みでは環境変化に対応できない状況となっていることは、すでにご案内の通りです。

本会といたしましては、次期中期的事業推進方向において「強い北海道漁業の確立」を目指し、グローバル戦略の更なる進化と、成長を旗印に事業を推進してまいります決意であります。

また、先ほどの全道組合長会議で特別決議をいただきました「中期的展望にたった漁業資源の生産回復」に向け、本会としても指導・経済連合会の立場から取り組みを強化してまいりますと考えております。

販売事業については、国内流通の安定確保を基本に置きつつ、海外輸出対策を含めた、漁協系統としての総合的な流通対策事業を継続強化してまいります所存であり、特に会員からの要望の強い一般鮮魚対策につきましては、

いては、一万五千トンを下回る史上最低の大減産を余儀なくされました。

消費については、ダシ系昆布を中心として依然として減少傾向に歯止めがかからず、消費拡大に向けた取り組みが重要となっております。

課題となっている昆布の資源回復対策については、新たに発足した「北海道昆布漁業振興協会」と連携し、生産安定に向けた試験事業に着手したところであります。

「一般魚種」については、産地市場での買受機能が低下する中、本会としましては、かねてから実施している「漁協系統鮮魚・加工原料供給ネットワーク事業」の拡充を図り、ぶり・かれいの全道対策と、地域の実情に応じた一般魚種対策に取り組み、魚価維持・付加価値向上に一定の成果をあげることができました。

以上により、平成25年度の本会販売事業の取扱高は製品扱・市場扱ともに計画・前年を上回る結果となりました。

「購買事業」については、原油価格が上昇し、高どまりをみせる中、全漁連とも連携し、系統燃油価格の適正化に取り組みました。

「漁業資材」については、購販推進活動と連携し、「コスト軽減に向けた」系統ブランド資材」の普及拡大を図るとともに、海外の生産環境の変化に対応した生産体制の見直しに

この春から新たに拠点を整備した「ぎょれん鮮魚センター」を核とした取り組みを強めてまいります。

指導事業では、TPP貿易自由化問題や、燃油高騰対策の継続に向けた取り組みの他、有害生物対策や、各種漁業経営安定化施策の拡充など、課題が山積しており、この解決に向けて、組織をあげた取り組みを強化してまいります。

以上の事業推進に向けた基本的な考え方を元に、平成26年度については、取扱高を二千九百五十四億円、収支戻は税引前当期利益段階で四億一千万円の確保を目標に事業を進めてまいります所存であります。

ご案内のとおり内外情勢は目まぐるしい変化を続けており、本会と致しましても、浜との連携をより強固なものとしながら、各種事業対策に果敢に挑戦してまいります所存でございますので、会員各位の特段のご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

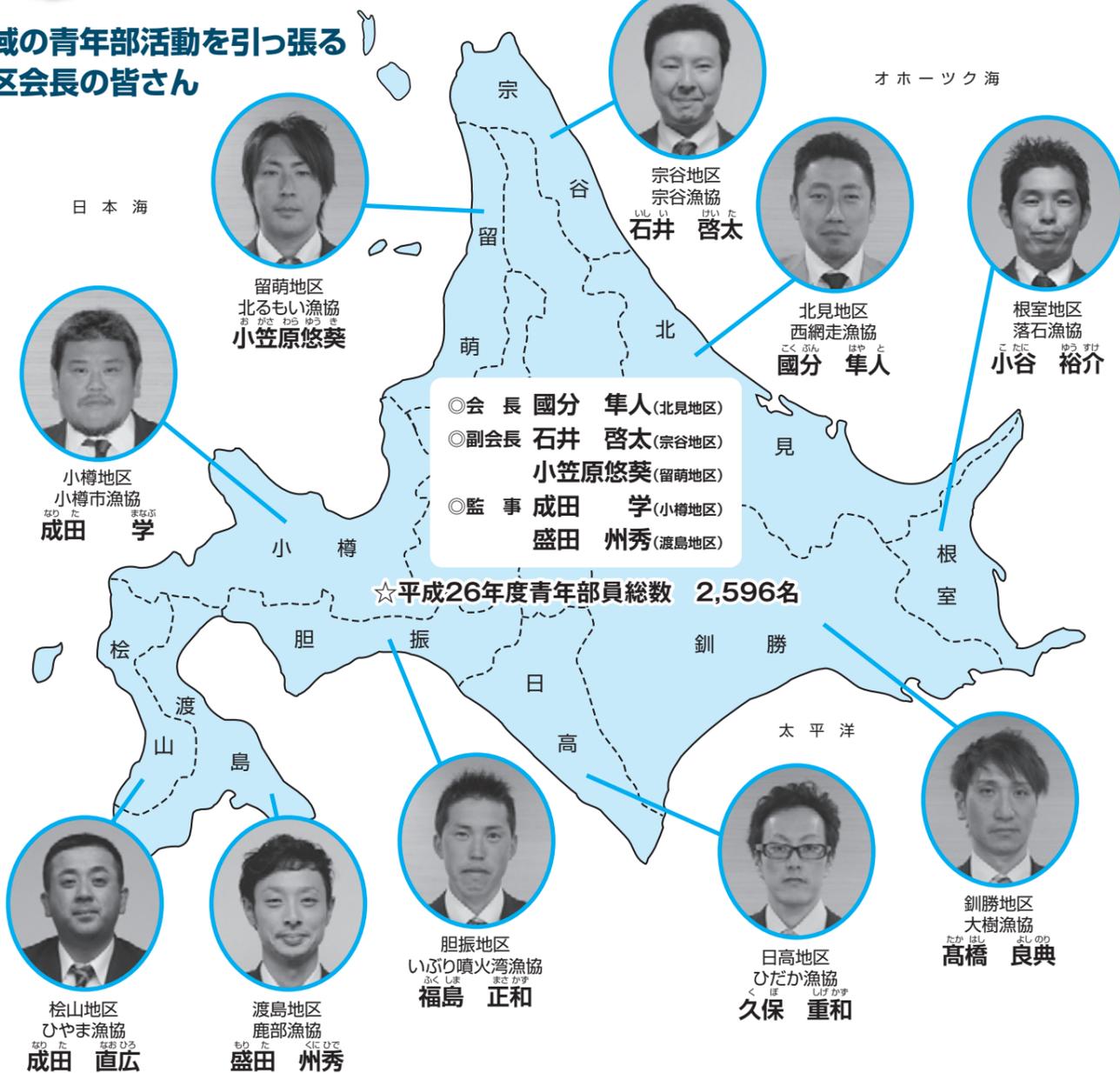
本日の提出議案について充分なるご審議とご理解を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

役員
改選結果

任期満了に伴う役員改選では、國分会長が再選され、副会長、監事が新たに選任され新体制で青年部活動の推進に取り組みます。

地域の青年部活動を引っ張る
地区会長の皆さん



道漁青連が平成26年度 第1回地区会長会議・ぎよれん役職員との懇談会を開催



道漁青連第一回地区会長会議が開催されました



例年1月に札幌で開催される全道大会



道漁青連の出前授業は「漁師さんの技」が見せ所

5月24日(土)、ぎよれん本所会議室において、北海道漁協青年部連絡協議会(道漁青連)の第1回地区会長会議が開催されました。このコーナーでは会議で承認された今年度の活動計画、任期満了に伴う役員改選結果、会議終了後に開催された「ぎよれん役職員との懇談会」について紹介します。

道漁青連の26年度活動計画は、「①仲間とともに、②漁協・系統とともに、③社会とともに」を基本方針に据えて、仲間との研修、系統事業への参加、食育・漁業紹介活動に取り組みます。

の地区に分けて行っているブロック別幹部研修会、地元地区大会の開催を通じ、地域、従事する漁業の枠組みを越えた連帯の輪を広げます。また、組織活動としては、地区会長が交代で札幌市内の小学校で開催する「漁師さんの出前授業」に加え、地元での出前授業の開催を推進します。

道漁青連役員と
ぎよれん役職員が情報交換

懇談会では、ぎよれんの事業計画、燃油高騰対策と漁業経営セーフティネット、海獣被害対策等についての説明がありました。一方、道漁青連からは、かたいや少量水揚げ魚種に関する魚価対策と漁業資源の回復対策等について質問が出されるなど、熱心な意見交換が行われました。また、本年度予定されている地区会長の海外研修について、ぎよれんとして支援することも決まり、青年部活動への期待が強く打ち出された懇談会となりました。



ぎよれん役職員との懇談会であいさつする西副会長



女性連平賀会長(右)と國分理事(左)も沢山の苗を植えていました

植樹を前に、主催であるぎよれんの西副会長は、「植樹は長期的な漁業資源の回復に取り組む一つのきっかけになる。地道に末永く植樹活動を継続していきたい。」と挨拶しました。また、長年植樹に取り組んでいる道女性連の平賀会長は「私たち漁業者には安心・安全で豊穡な海の幸を食卓へ届ける使命があり、そのために植樹の活動を末永く続けていきます。」と述べ、今後の植樹活動への思いを語りました。

その後、地区漁協組合長会会長会議の議長を務める白糖漁協の柳谷組合長から「森・川・海のつながりを意識しながら、スコップを持つ手に思いをこめて、1本1本苗木を植えていきましょう。」との呼びかけを行い、参加者全員で植樹を行いました。

植樹が行われた土地は道との協定で借り受けているもので、1.5ヘクタールに5か年計画での植樹が予定されています。今回は2年目となり、昨年植えた苗木に見守られながらの植樹となりました。

「お魚殖やす植樹活動」は今年度も全道で行われ、3万本以上の苗木が植えられる予定となっています。



昨年植えた木もしっかりと根付いていました



100年かけて100年前の自然の浜を

「お魚殖やす植樹運動」



6月3日、当別町にある道民の森 ^{かむいしり} 神居尻地区内にある「水源の森」で「お魚殖やす植樹運動」植樹行事が実施されました。今回で27回を迎える同植樹運動は昭和63年から始まり、昨年ついに植樹の本数が全道で100万本を突破しました。「100年かけて100年前の自然の浜を」のスローガンのもと、今年度も道内各地で植樹が行われています。

強い日差しが降りそそぎ、道内各地で最高気温が30度以上となったこの日。参加した皆さんは帽子やタオルで日差しへの対策はばっちりでした。今回植えられたのはミズナラ、イタヤ、ニレの苗木各250本の計750本。道女性連、地区漁協組合長会会長会議、道専務参事会、系統団体の他、北海道森林組合連合会、コープさっぽろ、全農・ホクレン、関係省庁などから、100名以上が参加する一大行事となりました。

ぎよれん職員も植樹に参加

植樹にはぎよれんの新入会職員6名も参加し、皆さんと共に汗を流しました。初めての体験を終えて感想を聞きました。



当日は晴天に恵まれ、750本の苗木を無事に植えることができました。

これまでの『お魚殖やす植樹運動』で100万本を超える数を積み重ねてくることができたのは多くの方の協力があったのだと、より実感致しました。

この植樹運動が北海道の大自然をより広げ、多くの方に恩恵をもたらす運動になることを願っています。

(指導教育部 福本 真也)



植樹の為の穴を掘る新入会職員
石が多い土地で、穴掘りも一苦労です



石狩北部森林組合伊藤係長による植樹指導



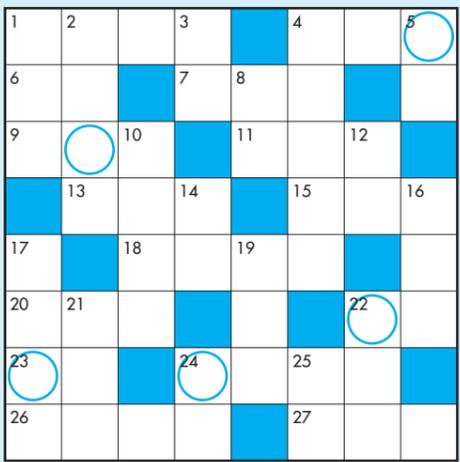
白糖漁協柳谷組合長も黙々と植樹に勤めます



ぎよれん西副会長は若手職員と一緒に植樹

クロスワードパズル

次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。7月7日は七夕。昔は夜空に輝く織女星（おりひめ）に針仕事の上達を願っていたそうですが、皆さんは何をお願いしますか？七夕の夜は、おりひめとひこぼしの間にまたたく星々がきれいに見えるといいですね。



- タテのカギ**
- ① 祭りや花火を見に行く時の着物
 - ② 7月第3月曜日の祝日は？
 - ③ 大都市はここにも鉄道が走ります
 - ④ 一つ噴火してもおかしくない山のこと
 - ⑤ お寿司に添えられる甘酢生姜
 - ⑧ お坊さんの上着
 - ⑩ イヤリングを付けるところ
 - ⑫ 梅雨が明けるとこれが来ます
 - ⑭ 最後に安住する所。○○の住み処
 - ⑯ 先祖代々の家業を守りついでる店
 - ⑰ 塩茹ではビールにピッタリ
 - ⑲ 船を留めるために水底に沈めるおもり
 - ㉑ 水族館のショーで得意のジャンプを披露します
 - ㉒ これをのぼすとお汁粉に
 - ㉔ 日本古来の紙
 - ㉕ 夏の夜に虫除けに吊る薄い布

- ヨコのカギ**
- ① 夏の午後に降る激しいにわか雨
 - ④ 美術館で鑑賞する芸術的な絵のこと
 - ⑥ 齢を取ると抜けたり白くなったり
 - ⑦ 賛成多数により本案は○○○されました
 - ⑨ お願い
 - ⑪ 酒のつまみは、酒の○○○とも言います
 - ⑬ 誰にも言わないで、○○○だよ。
 - ⑮ 英語ではマガジン、日本語は？
 - ⑰ 入院⇄
 - ⑲ 水中に飛び込む事を英語で○○○
 - ㉒ 夏場によくかく
 - ㉓ 正解の時つける印
 - ㉔ 勘定÷人数の均等払い
 - ㉕ スイカ割りの時、見えないように…
 - ㉗ 夜間に走るの○○○列車

○印に当たる言葉をうまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、17ページをご覧ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

6月号の解答と当選者
ツユイリ

サ	ク	ラン	ホ	カ	サ
カ	ツ	ジ	ウ	ナ	ギ
ミ	オ	ウ	タ	ン	ト
チ	カ	カ	ン	キ	ユ
タ	サイ	ユ	リ		
ネ	ツ	イ	ヨ	ウ	カ
ム	シ	ユ	ウ	ゴ	ロ
キ	リ	ン	ビ	ワ	ン

(興部町) 下地美由紀さん
(北見市) 織田 光さん
(福島町) 佐藤 清春さん
(苫前町) 鎌田 純子さん
(根室市) 中野 徹夫さん

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5カ所の異なる箇所があります。さあ、見つけてください。(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17ページにあります。

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の家族物語



【片川さんご一家】 片川孝典さん(36歳)、千春さん(37歳)、黎哉くん(中2)、芽生ちゃん(小4)
※孝典さんのご両親 壽雄さん、加代子さんと一緒に

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、雄武漁協の片川さんご一家です。

たくさん獲れる今やらないと後悔する

ほたてと底建網を中心になまこや鱒、たこ、毛がになど様々な漁業を年間通して操業しているという孝典さん。父・壽雄さんの背中を見て育ち、早くから漁師になることを決めていたと言います。「父親の体もそんなに強くなかったし、早く手伝いたいと思っていた」と語る孝典さんは、高校生の頃から船に乗っていたそうです。卒業後はすぐに漁師になり、最初は人手を探していた部会の毛がにの船で経験を積んだと言います。「体力的に厳しかったし、覚えることも多かった、大変だったよ。それでも若かったからできたね」と語ってくれました。

現在は若い人を雇うようになり、体は楽だが頭を使うと笑う孝典さん。「やっぱり漁師は獲ってなんぼ。最近は底建網でいかが獲れるから、沢山獲れる今やらないと後悔すると思う」と熱く語ってくれました。

親子三代で船に乗りたい

千春さんは同じ雄武町内の出身。「両親は水産加工関係なので、小さいころから浜で遊ぶことも多かつ

たです。どういう感じかは知っていたけど、浜の仕事は初めてなので、最初は大変でした」とほがらかに笑います。

兄の黎哉くんは友達との野球に夢中な中学2年生。将来は漁師になりたいと言っています。妹の芽生ちゃんは民謡を習っている小学校4年生。浜が好きで、ほたての稚貝作業も朝の4時に起きて積極的に手伝ってくれるそうです。そんな子どもたちと孝典さんと一緒に親子3代で船に乗るのが壽雄さんの夢。黎哉くんが生まれた時から楽しみにしているそうですが、その夢がかなう日もそう遠くはなさそうです。

今後について孝典さんは、「子供が漁師をやりたいって言ってくれた時に備えて土台づくりをしてやりたいね。まずは今やっているほたてや底建網漁を安定的に続けていきたいかな」と話してくれました。

ほたての作業が一段落し、次はなまこと底建網の漁が始まる片川家。年末まで忙しい日々が続きますが、子供たちの協力も得て家族一丸となって頑張ります。



各地で「漁協購販推進委員長・事務局長会議」始まる 本年度の活動目標を確認し、購販推進活動を進めます

02

漁協購販推進活動については、5月16日に開催された、全道地区委員長会議での承認を得て、各地区で委員長会議が開催されています。

すでに開催された地区会議では、前年の購販推進活動報告、平成26年度の具体的活動方針の確認に加え、最新の石油情勢、系統ブランド資材の推進状況、各地区の主要魚種の水揚げ・消流動向について情報提供がなされ、今後の水揚げに期待が寄せられました。

また、地区によっては昨年開催された購販・貯蓄・共済3委員会合同研修大会のアンケート結果が紹介され、今年度の開催時期、研修内容について意見交換を行いました。



北海道をとりまく魚の中に、北の大地を表現した購販推進大会旗



釧勝地区購販会議



根室地区購販会議



北見地区購販推進会議

ねむろ産直ときしらず祭りが開催 旬を味わってもらおうとオール根室でPRを行いました

03

6月5日(木)、6日(金)、道庁赤れんが庁舎前庭にて、ねむろ水産物普及推進協議会主催の「ねむろ産直ときしらず祭り」が開催されました。同団体は根室市、市内4単協、根室水産協会、地元金融機関、ぎょれん及び系統団体などによって構成され、根室産の水産物の販売促進を目的としています。

目玉のときしらずの炭火焼の他、ときしらずを使用したあら汁、昆布製品など根室の水産加工品や特産品も販売され、両日とも多くの人が行列を作りました。

今後は9月24日(水)、25日(木)に、同会場でさんま祭りの開催を予定しており、こちらも多くの人出が期待されます。



炭火焼の香ばしい香りに多くの人が行列を作りました

「道ぎょれん会 お取引先懇談会」が開催 全国から参加いただいたお客様と懇親を深めました

01

5月29日(木)札幌市のホテルで、ぎょれんが主催する「道ぎょれん会 お取引先懇談会」が開催され、全国から182社、268名のお客様が参加されました。

主催者を代表して川崎会長が昨年度の北海道漁業について触れ、「ほたてと秋鮭は回復傾向にあり、特にほたては価格も好調で国内はもとより、海外でも引っぱりだこ。秋鮭の水揚げも12万トンと回復傾向だが、さらに15万トン、16万トンの水揚げを目指したい。ただ昆布については生産量の回復努力を行っているが1万5千トンを割る結果となった。今後は漁業者の懐を潤し、取引先の皆様にも喜んでいただける商品を提供できるよう、国や道などの行政とスクラムを組み合わせながら、栽培漁業の推進にしっかり取り組みたい。ぎょれんは、今後も浜の皆さんと最大限の努力を図ってゆくので、温かいご支援とご協力をいただきたい」と挨拶しました。

続いて西副会長が本道漁業の概況について報告。「本道漁業の概況・北海道の漁業 この1年」と題し、本道漁業の生産量の推移、魚種別・地域別漁業生産動向を報告しました。

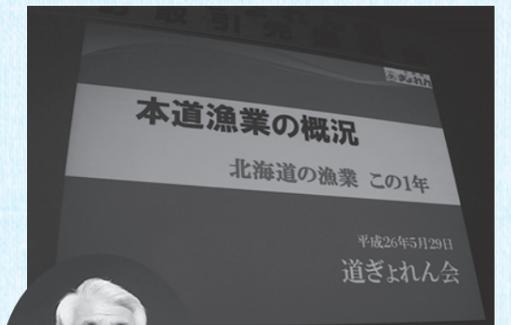
報告の中では地域間の水揚げ格差が拡大していることへの懸念とともに、沿岸漁業の安定的な発展には自立した栽培漁業の推進が不可欠であるとして、今後の取り組み内容について説明しました。

続いて秋鮭、昆布、ほたての水揚げ動向、産地水産加工業の動向をグラフ等で解説するとともに、グローバル化が一段と進む世界的な水産物の生産・流通展望と道産水産物の消費拡大への取り組みを紹介し、お取引先皆様の一層のご支援をお願いしました。

また、特別講演を行った戸張捷氏は、ゴルフトーナメントの運営を通じて体験した、世界で活躍するトッププレーヤーの知られざる努力や、良いプレーヤーとは強いだけでなく、人格含め目標とされる選手であるとの持論をお話されました。最後に若手男子プロゴルファーの活躍に期待するとして、名前の挙がった選手が、本講演会の数週間後に全米ツアーで初優勝し驚きましたが、選手との交流にまつわるエピソードは、参加された皆さんの共感を呼ぶ講演となりました。



「道産水産物の生産増大のため、栽培漁業の推進に、しっかり取り組みたい」と挨拶する川崎会長



西副会長からは本道の漁業動向と、ぎょれんが進める道産水産物の消費拡大への取り組み等について報告がありました



世界で活躍するプロゴルファーの知られざる努力を紹介した戸張捷氏

大漁祈願!

news 浜のほつとニュース

小樽

管内では6月初旬からぶりが大漁となりました。特に古宇郡漁協では史上最高となるほどの豊漁で、例年より早い来遊と大漁水揚げが重なり、浜では出荷対応に追われる日々が続きました。一方、いかの水揚げも始まり、未だバラサイズが中心と小さめですが、1隻あたり100ケース程と漁期序盤としては好調な出足であり、今後の水揚げに期待が膨らみます。

室蘭

管内春定置の時鮭ですが、5月末現在まとまった水揚げはなく、昨年同時期に比べ57%の水揚げ量にとどまっております。一方、真たらの水揚げは日産8~10tと昨年よりも好漁となっております。管内の毛がに籠漁が6月20日の噴火湾地区を皮切りに、7月には太平洋地区が解禁予定となっております。今後の漁に期待がかかります。生産者の方々の安全操業と大漁を祈念しています。

根室

今年のロシア200海里内での鮭鱒流し網漁は、5月28日に花咲港から出漁し、6月1日から操業を開始しました。小型船20隻のうち、3隻が8日までに同港に帰港し、塩紅鮭・生鮮時鮭などの初水揚げを行っています。9日の花咲市場でのセリでは、塩紅鮭の高値は前年比16%安のk@1,145に留まり、厳しいスタートとなりましたが、関係者によると、魚体や漁模様などは昨年並みであるそうで、今後の豊漁と浜値の好転が期待されます。

留萌

管内の真がれいの水揚げ量は、5月末累計では海水温の影響からか、昨年対比で約90%前後にとどまっていますが、漁期終盤の6月に入っている中でまとまった水揚げが続いており、例年同期よりも多い状況です。また、ひらめも管内で日々約200~300ケースの水揚げが続く、浜は一層活気を帯びています。さらに、これからうに、なまこ漁が本格的に始まりますので、安全操業と大漁を祈念しています。

函館

函館では6月からするめいかの水揚げが始まりました。初水揚げとなった6月2日は約100kgの水揚げでしたが、鮮度の良い生簀いかで k@5,000、発泡に入ったいかで1箱7,600円の御祝儀相場価格がつき、これは去年を大幅に上回る価格でした。しかし、現在でも魚体サイズはまだ小さく、居酒屋に函館名物の活いか刺が並ぶのはもう少し先になりそうです。

釧路

先月末より解禁となったロシア200海里内鮭鱒漁ですが、6月9日から19トン船の入港・水揚げが始まりました。紅鮭・時鮭は近年の傾向と同様に魚体は小さめとなっております。漁期終盤まで引き続き安全操業を願っています。また、6月から棹前昆布漁が始まりました。この時期は霧の日も多く、また晴れている波があるなど、天候に恵まれず出漁機会が少なくなっていますが、当初計画通り出漁できることを願っています。

稚内

オホーツク海地区の毛がに籠漁は、無事に終漁を迎えました。ほとんどの地区にて本操業が始まり、このまま順調な水揚げが続くことを期待しています。利礼地区では6月よりのな漁が解禁となり、昨年に引き続き高値で推移しており、今後の動向を注視しています。また、日本海地区では夏なまこ漁も解禁となりました。7月には利礼でうに漁が全地区で解禁となり、管内昆布漁も始まることから、夏の最盛期に向け安全操業で大漁となることを願っています。

桧山

ひやま管内では6月よりするめいかが解禁となりました。漁開始当初は発泡の箱換算でおよそ200~300ケースと少ない水揚げでしたが、6月半ばに入ってから50~70隻と船数も増え、発泡で6,000~8,000ケースと水揚げが上向いてきました。函館市内のスーパーでは本州産のするめいか中心の売り場でしたが、徐々に桧山産するめいかが並ぶようになってきています。

日高

7月から始まる昆布漁に向け、各地で磯掃除・干場整備が盛んに行われています。今年は昨年の不漁から一変し、着生が順調に進んでおり大幅な増産が見込まれます。あとは天候と風に恵まれ、満足のいく操業ができることを願うばかりです。また、管内各地で夏漁に向け切り替えが進んでいます。今年は例年に比べまだ肌寒く夏が近づいている感じはしませんが、気温上昇とともに昆布漁ともども浜が活気づくことを期待しています。

北見

7月に入りオホーツクも短い夏を迎えようとしております。当管内では7月1日より北海しまえび漁がスタートし、たこ漁も本格化するなど夏漁が賑わいを見せています。また、今後はオホーツクサーモンの水揚げが始まりますが、事故のない安全操業と益々の豊漁を心より祈願します。

みなさんのお便りでつくるページです。

なみまる おたより箱



いつも表紙を飾る、漁業者のご家族のお写真を楽しみにしております。若い漁業者、微笑ましい写真を見ているだけで北海道の漁業者の心意気を感じております。

(苫手県盛岡市 照井 誠さん)
いよいよ昆布漁が解禁となりますがこの時期の根室は霧で視界が悪いので、怪我や事故に気を付けて作業してもらいたいですね。
(根室市 高屋敷 実香さん)

ついに漁が始まりました。風が続くとを祈念します。
(小樽市 宮古 知行さん)

本州の方に出かせぎに行っている人たち、また北海道から仕事の都合で本州方面に行っている人がたは梅雨時期になると雨が多くて仕事にならないと聞きます。そのかわり北海道はいいですね。
(函館市 K.T.さん 63歳)

6月になりました。伝統ある我街、昆布盛小学校町会の大運動会も今年で最後になりました。町会皆で楽しめるように、子供たちに盛大の応援、漁師の力をたくさん見せてください。
(根室市 庄林 祐里奈さん 17歳)

今年ももう早いもので半年が過ぎましたね。この間までボカボカ暖かかったですが、最近梅雨の影響なのかジメジメしていますね。7月は地元でお祭りがあります!!楽しみですね!!
(厚岸町 K.U.さん 22歳)

ほとんどの漁業をしているので、ぎよれんのほたて対策事業の記事が参考になりました。
(標津町 金田 賢吾さん 44歳)

6月号の「若きリーダーを訪ねて」隣の同じ海の近くに暮らすものとして嬉しく、そして頼もしく存じました。苦前も、今はほとんどのやえび漁業に忙しい日々のご様子です。
(苫前町 鎌田 純子さん 75歳)

今年の初ここの釜揚げを5月21日の朝頂きました。いつも変わらざる美味でした。夕方の沖合に見える漁火に豊漁であれと祈っています。6月4日の朝、漁港の荷捌き所を覗いてみると、ぶり500本程が氷詰めされておりました。なぜか価格は安いとかが?えびの選別に一生懸命でした。朝、新鮮なお魚の香りが一杯でした。漁民の皆さんに感謝です。
(島牧村 泉谷 泰三さん 86歳)

うちは鮭鱒やっていますが、クジラにブイごと1300反海の底にもついでいかれショックです。自分で仕立てる網が増えちゃいました。
(根室市 辻 純子さん 55歳)

編集部からのお知らせ

皆様からの便り、写真、イラストをお待ちしています!

次の①~③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿(お便り、写真、イラスト等)や、広報なみまるくん7月号への感想・ご意見など
- ②13ページのクロスワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉7月21日までにお送りください。

宛先が変わりました!!

(郵便) 〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎよれん 営業企画部 広報担当
(FAX) 011(271)0843
(電子メール) info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載(氏名、年齢、市町村名)にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

13ページの間違えがしの答え



浜の家族物語の取材でオホーツク管内に行ってきました。私にとっては前任地であり、北海道で一番長く生活した場所です。転動して1年になりましたが、組合や漁業者、買受人の方々に「おかえり」と言っていただけな事がとても嬉しかったです。これから、道内各地に取材に伺うことがあると思いますが、皆さんに「また来たの!久しぶり!」と言っていただけになるようにしたいです。(矢幡)

編集後記

増量版 今月の3枚!



タイトル:佃煮工場は忙しい (島牧村 泉谷 泰三さん)



タイトル:大船のおまつり (函館市 多田 千代乃さん)

〈編集部から〉山車を引く子供たちを見守ったお母さん方の笑顔と法被が素敵ですね。船が使われた山車がとても立派です。

安全は ライフジャケットと 家族の笑顔

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

さっぱりレモン風味のタレが食欲をそそります

鮭のレモン醤油がけ

浜のおかあさん

レシピ



今回は鮭を使った「鮭のレモン醤油がけ」をご紹介します。醤油にレモンをあわせたタレで、いつもの揚げ物とは一味違った味わいになりますよ。レモンの爽やかさが暑い夏にも食欲を刺激してくれる一品です。

材料(4人分)

・鮭の切り身…4切	・片栗粉…適量
・ねぎ…1/2本	・サラダ油…適量
・わさび菜…少々	・醤油…100g
・塩…少々	④・レモン汁…10g
・こしょう…少々	・砂糖…80g

作り方

- ① ねぎは薄く斜め切りにし、鮭の切り身には軽く塩・こしょうをしておく。
- ② 鍋にAを全部入れ、良く混ぜて火にかけ、温まったらタレの出来上がり。
- ③ ①に片栗粉をまぶして、180℃の油でカラッと揚げる。
- ④ 揚げた鮭の上にねぎをのせ、タレを少々かけ、付け合せとして皿にわさび菜をちぎって添えたら出来上がり。



北るもい漁協
木村日登美さん